

平成23年度 損害保険会社決算概況

1. 23年度決算の特徴点

23年度は、国内における自然災害による保険金支払いが例年になく増加したほか、タイ大洪水の影響もあり、保険引受利益は過去最大の赤字となりました。

資産運用は、有価証券売却益は増加したものの、利息及び配当金収入の減収や有価証券売却損や評価損の増加により、資産運用粗利益が減益となりました。

経常利益は黒字を確保しましたが、当期純利益は法人税率引き下げによる繰延税金資産の取崩しのため大幅な赤字となりました。

2. 保険引受の概況

(1)正味収入保険料

正味収入保険料は、自賠償保険や自動車保険の料率改定による増収もあり、全種目合計で22年度比2.1%(1,451億円)増収の7兆1,161億円となりました。

* 正味収入保険料 = 元受正味保険料 + 受再正味保険料 - 出再正味保険料

(2)正味支払保険金

正味支払保険金は、主力の自動車保険の支払いが高止まりしているなかで、22年度に発生した東日本大震災関係の保険金支払いや、23年度に発生した台風12号・15号等の国内自然災害の支払い、さらにタイ大洪水の支払いにより火災保険が22年度に比べて4倍になったこともあり、全種目合計では22年度比27.5%(1兆1,871億円)増の5兆5,058億円となりました。

* 正味支払保険金 = 元受正味保険金 + 受再正味保険金 - 回収再保険金

損害率は、1兆円を超える正味支払保険金の増加により22年度に比べて15.9ポイントアップの83.4%となりました。

(3) 保険引受に係る営業費及び一般管理費

保険引受に係る営業費及び一般管理費は、物件費および人件費ともに削減したため、22年度比 2.5%減の1兆1,627億円となり、事業費率は0.8ポイントダウンの33.8%となりました。

(4) 保険引受利益(損失)

23年度は、主力の自動車保険が厳しい損益状況下にあるなかで、国内自然災害の頻発やタイ大洪水への保険金支払いが発生しました。国内自然災害については保険金支払いが進んだため、異常危険準備金の取崩しにより一定程度損失の改善が図られました。一方、タイ大洪水については保険金支払いには至らず支払備金計上した額(=下表の未払保険金の額)が多く、23年度決算に直接負担となったこともあり、過去最大の3,391億円の保険引受損失となりました。

なお、東日本大震災に係る保険金については、地震保険は、原則、損益が発生しない制度となっており、また、地震保険以外の保険についても22年度中に適切な支払備金計上を行ったため、23年度の保険引受利益に与える影響は限定的となりました。

* 保険引受利益 = 保険引受収益 - 保険引受費用 - 保険引受に係る営業費及び一般管理費 ± その他収支

自然災害に係る正味発生保険金(22・23年度)

	23年度			22年度
	発生保険金	正味保険金	未払保険金	発生保険金
国内自然災害	2,217億円	1,795億円	422億円	2,479億円
タイ大洪水	5,017億円	1,556億円	3,461億円	
合計	7,235億円	3,351億円	3,884億円	2,479億円

注：当期発生分であり、全種目(地震保険を除く)の発生額です。

3. 資産並びに資産運用の概況

23年度末の総資産は、東日本大震災をはじめとする自然災害に係る保険金支払いや、長期性資産の減少もあり、22年度末比 5.7%減少の27兆9,958億円となりました。

また、純資産は巨額な当期純損失を計上したことから、22年度末より 9.3%減の

4兆3,270億円となりました。

資産運用については、有価証券売却益が増加したものの、資産運用収益の中核をなす利息及び配当金収入が6.7%減収し、有価証券売却損や評価損も増加したことから、資産運用粗利益は22年度比13.3%減益の4,173億円となりました。

* 資産運用粗利益 = 資産運用収益 - 資産運用費用

4. 当期純利益(損失)

保険引受利益の赤字や資産運用粗利益の減益により、経常利益は22年度比65.8%減益の801億円となりました。

経常利益に特別損益や法人税等合計を加除算した当期純利益は、平成23年12月の法人税法等改正による法人税率の引下げにより、繰延税金資産を取崩したことから、当期純利益(損失)は2,621億円の赤字となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、23年3月期から算出基準の厳格化が行われ22年度末に比べ低下しましたが、協会加盟会社全社は法律で求める水準を超えており、経営の健全性について問題ない水準となっています。

本集計は次の協会加盟会社(26社)の単体決算に基づき報告しています。

あいおいニッセイ同和損保、アイペット損保、朝日火災、アニコム損保、イーデザイン損保、エイチ・エス損保、SBI損保、au損保、共栄火災、ジェイアイ、セコム損害保険、セゾン自動車火災、ソニー損保、損保ジャパン、そんぽ24、大同火災、東京海上日動、トーア再保険、日新火災、日本興亜損保、日本地震、日立キャピタル損保、富士火災、三井住友海上、三井ダイレクト、明治安田損保

損害保険会社の平成23年度決算概況

億円

